

# 目 次

## 1 会議概要

(1) 会議の名称	1
(2) 開催期間	1
(3) テーマ	1
(4) 会場	1
(5) 主催	1
(6) 共催	1
(7) 後援	1
(8) 使用言語	1
(9) プログラム	2
(10) 参加都市代表	4
(11) 参加都市位置図	7

## 2 会議内容

(1) 開 会 式	8
(2) 基 調 講 演 1	13
(3) 分 科 会 1	28
(4) 分 科 会 2	60
(5) 基 調 講 演 2	80
(6) 分 科 会 3	90
(7) 分 科 会 4	127
(8) 全 体 会 議	146
(9) 共 同 宣 言 採 択	164
(10) 閉 会 式	166

### 3 公 式 行 事

- (1) 海外参加都市代表との懇談会 ..... 169
- (2) 歓迎レセプション ..... 169
- (3) 送別レセプション ..... 169
- (4) 行 政 視 察 ..... 169

### 4 関 連 行 事

- (1) 国連ハビタット主催ワークショップ ..... 170
- (2) 参加都市紹介パネル展（福岡市情報プラザ） ..... 170
- (3) 参加都市紹介パネル展（ホテルニューオータニ博多） ..... 170

### 5 来 賓 等 ..... 171

### 6 参加者名簿 ..... 172

### 7 福 岡 宣 言 ..... 178

### 8 アジア太平洋都市サミット規約 ..... 179

### 9 アジア太平洋都市観光振興機構（TPO） ..... 183

- (1) 創 設 計 画 ..... 183
- (2) 規 約 ..... 185

### 10 参 考 資 料 ..... 188

- (1) 実 施 状 況 ..... 188
- (2) 新 聞 記 事 ..... 189
- (3) 執 行 体 制 ..... 195

# 1 会議概要

## (1) 会議の名称

第5回アジア太平洋都市サミット  
The 5 th Asian-Pacific City Summit

## (2) 開催期間

2002年8月30日(金)～9月1日(日)

## (3) テーマ

全体テーマ：「21世紀型の新しい都市づくり～ガバメントからガバナンスへ～」  
分科会1：「市民参加型都市づくり」  
分科会2：「顧客重視・成果重視の行政改革」  
分科会3：「e-ガバナンス～ITを活用した都市づくり～」  
分科会4：「産学官の連携」

## (4) 会場

ホテルニューオータニ博多  
福岡市中央区渡辺通1-1-2

## (5) 主催

福岡市  
アジア太平洋都市サミット実行委員会

## (6) 共催

国連人間居住計画（国連ハビタット）

## (7) 後援

総務省，外務省，財団法人自治体国際化協会，国際交流基金

## (8) 使用言語

4か国語（中国語，英語，日本語，韓国語）

(9) プログラム

8月30日(金)

13:15~14:00	<b>開会式</b> 参加都市紹介…参加都市代表者登壇 主催者挨拶…福岡市長 山崎 広太郎 来賓挨拶…外務省大臣官房国内広報課企画官 岡本 博美 福岡県知事 麻生 渡 来賓紹介 歓迎挨拶…福岡市議会議長 稲員 大三郎 参加都市代表挨拶…釜山広域市長 安 相英
14:15~15:15	<b>基調講演 1</b> 「官僚制度の改革～組織DNAを変える5つの戦略～」 公共戦略グループ マネージング・パートナー デビット・オズボーン
15:30~17:30	<b>分科会 1 「市民参加型都市づくり」</b> 各都市発表…熊本市, ホーチミン市, 香港特別行政区政府, ジャカルタ特別市, 鹿児島市, 大分市, シンガポール, 福岡市 座 長…熊本市長 三角 保之
	<b>分科会 2 「顧客重視・成果重視の行政改革」</b> 各都市発表…佐賀市, オークランド市, マニラ市, ウルムチ市, 福岡市 特別参加…デビット・オズボーン 座 長…佐賀市長 木下 敏之
18:15~18:30	<b>参加都市代表者記念撮影</b>
18:30~20:00	<b>歓迎レセプション</b>

8月31日(土)

9:30~10:30	<p><b>基調講演 2</b>  「ユビキタス・ネットワーク時代の情報ルネッサンス都市」  株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ相談役 大星 公二</p>
10:45~12:45	<p><b>分科会 3 「e-ガバナンス～ITを活用した都市づくり～」</b>  各都市発表…宮崎市, 釜山広域市, 大連市, 広州市, イポー市,  クアラルンプール市, 上海市, 福岡市  特別参加…長田 正 (福岡市顧問 IT戦略担当)  座 長…宮崎市長 津村 重光</p> <hr/> <p><b>分科会 4 「産学官の連携」</b>  各都市発表…北九州市, バンコク市, ブリスベン市, 長崎市,  ウラジオストク市, 福岡市  特別参加…長田 純夫 (福岡大学工学部教授・福岡大学北九州産学連携推進室長)  座 長…北九州市助役 江端 康二</p>
14:00~16:45	<p><b>全体会議</b>  分科会座長報告…分科会 1 熊本市長 三角 保之  分科会 2 佐賀市長 木下 敏之  分科会 3 宮崎市長 津村 重光  分科会 4 北九州市助役 江端 康二  アジア太平洋都市観光振興機構の創設について  アジア太平洋都市サミットの規約について  次期開催都市について  特別参加…野田 順康 (国連人間居住計画 (国連ハビタット) 福岡事務所長)  米川 佳伸 (国連経済社会局計画調整官)  座 長…福岡市長 山崎 広太郎</p> <hr/> <p><b>共同宣言採択</b>  座 長…福岡市長 山崎 広太郎</p> <hr/> <p><b>閉会式</b>  次期開催都市代表挨拶…熊本市長 三角 保之  バンコク市事務次官補 ナタノン・タヴィシン  閉会挨拶…福岡市長 山崎 広太郎</p>
19:00~20:40	<p><b>送別レセプション</b></p>

9月1日(日)

9:30~11:30	<p><b>行政視察</b></p>
------------	--------------------

# 2 会 議 内 容

## (1) 開 会 式

----- 主催者挨拶 -----

【福岡市長 山崎 広太郎】

福岡市長の山崎でございます。第5回アジア太平洋都市サミットの開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

ここ福岡の地に海外11カ国から16都市、九州各地から7都市の代表にご参加を賜り、第5回アジア太平洋都市サミットが開催されますことを大変うれしく、また光栄に存じます。遠方から福岡にお越しいただきました参加都市代表団の皆様を心から歓迎申し上げます。また、本日は国際連合、国連人間居住計画、外務省、福岡県、自治体国際化協会をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、またこのように多くの市民の皆様にご参加いただきましたことを、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

アジア太平洋都市サミットは1994年に第1回を福岡市で開催して以来、都市の成長に伴って生じる様々な都市問題の解決のため、アジア太平洋地域の諸都市が有している経験や知識を共有するとともに、相互協力のための都市間ネットワークの構築を目指しており、今回で5回目を迎えることとなりました。21世紀に入り世界的に都市への人口集中が進む中、社会的・経済的諸問題を解決するためには、都市間協力を推進することが極めて重要なことと考えております。今回の会議には新たにロシア連邦のウラジオストク市に正式にご参加をいただき、過去最多の24都市にご参加いただきました。回を重ねる毎に参加都市も増え、ネットワークが着実に広がり、かつ深まっておりますことを私は大変喜ばしく思いますとともに、今回の会議を通じてよりいっそう都市の連携が図られますことを期待いたしております。

さて、今回は「21世紀型の新しい都市づくり～ガバメントからガバナンスへ～」を全体会議のテーマとして、都市行政のあり方について協議をいたします。過去の会議においても環境問題をはじめ、様々な都市問題を解決しながら持続可能な成長を続けるには、市民との協働による都市づくりが重要であることが強調されてまいりました。そこで今回は、分科会として「市民参加型都市づくり」「行政改革」「e-ガバナンス」「産学官の連携」の4つのテーマを設定し、市民との共治による都市づくりをいかに推進するかという、アジア太平洋諸都市のガバナンスの改善に向けた取り組みを、様々な角度から話し合うことによりまして、21世紀にふさわしい都市行政について幅広く意見を交換するとともに、ガバナンスの改善へ向けた都市間協力の可能性を探って参りたいと考えております。

行政の最高責任者として日々問題解決に当たっておられます方々の忌憚のない意見や、多岐に渡る情報は、この都市サミットに参加している都市のみならず、世界の多くの都市にとって極めて有益な示唆に富むものになることと思っております。この会議がアジア太平洋諸都市の共同発展、ひいては世界の平和と安定、繁栄に貢献できますことを念願いたしております。

最後になりましたが、会議の開催にご支援ご協力をいただきました関係各位に感謝申し上げますとともに、ご列席の皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

【外務省大臣官房国内広報課企画官 岡本 博美】

ただいまご紹介いただきました外務省大臣官房国内広報課の岡本でございます。川口大臣の祝辞を代読させていただきます。

本日ここに、アジア太平洋地域の諸都市の市長をはじめとする関係各位のご列席のもと、第5回アジア太平洋都市サミットが開催されますことを心からお祝い申し上げます。アジア太平洋諸国、中でも東アジア諸国は、長い歴史的伝統と固有の文化をもっており、この文化的土壌に基づいて発展してきました。いまや東アジアは「世界の成長センター」として国際社会の重要な一地域を構成しております。

97年に発生したアジア金融危機は、このような東アジアの成長神話に冷水を浴びせたという評価が一部にあります。しかしその冷水はむしろこの地域に確固とした協力の枠組みを築くことの重要性を改めて認識させたといえましょう。この危機の背景には、急速に進んだグローバリゼーションの流れがありました。科学技術の発展によって、情報は瞬時に世界を駆け巡り、経済活動は国境や物理的な距離、時差などをものともせず展開されるようになったのです。しかし、グローバリゼーションの負の側面について、国際社会に警鐘を鳴らしたこの金融危機によって、アジア太平洋諸国はむしろ、この地域に力強い協力の枠組みを築くことの必要性に目覚めたと言えます。このような実践的な地域協力は、金融の分野に限られません。この地域が抱える問題や課題に地域全体として取り組んでいこうという動きは、様々な分野で見られます。小泉総理が今年1月に提唱し、わが国が現在推進している「日・ASEAN包括的経済連携構想」もその一環です。

このように高まりつつある地域協力の気運の中、私は7月、ブルネイで開かれた第3回ASEAN+3外相会議および第9回ARF閣僚会合に出席し、関係各国の外相と、テロ対策、朝鮮半島情勢、東ティモール情勢、軍備管理、軍縮、不拡散の問題をはじめ、幅広い分野について意見交換を行い、地域間の問題の解決に向けての協力関係の促進について発言してまいりました。また8月12日に東京で開催された、東アジア開発イニシアティブ閣僚会合においても、開発協力のあり方について自由な意見交換を行ないました。

このような国レベルの取り組みもさることながら、本日、アジア太平洋地域からご列席の皆様が都市におかれましても、地域レベルでの経済活動の進展および人口の集中、都市環境問題等によってもたらされる様々な諸問題の解決に向けて、不断の努力を続けておられると存じております。この問題の解決につきましても、情報の共有等を通じたネットワークの構築、都市間の協力は重要であり、今回開催されます都市サミットにおいて、アジア太平洋地域の都市のリーダーの方々と一緒に会し、共通のテーマのもと活発な議論を展開されることは、誠に有意義であり時宜を得たものであります。特に都市問題解決に向けた都市間の連携、友好親善と相互協力のためのネットワークの構築、これはアジア太平洋地域の長期的な平和と繁栄に多大な貢献をもたらすものであると確信いたします。

最後に第5回アジア太平洋都市サミットのご成功、主催者の福岡市長をはじめ、ご列席の皆様方のご健康、並びに参加各都市の一層のご発展を心より祈念し、ご挨拶の言葉とさせていただきます。

平成14年 8月30日

外務大臣 川口 順子

【福岡県知事 麻生 渡】

ご紹介をいただきました福岡県知事の麻生でございます。第5回アジア太平洋都市サミットが盛会に行われておりますことを心からお喜びを申し上げます。

アジア太平洋地域の24都市の皆さんに参加をいただき、わざわざこの福岡においていただきましたことを心から歓迎申し上げます。今回のテーマは、「21世紀型の新しい都市づくり」ということでもあります。21世紀は、今まで以上に知識というものが大きな役割を果たしていくということであろうと思いますし、またグローバルイゼーションもどんどん進んでまいるのでございます。このような時代におきましては、ますます都市の役割、機能というものが重要になっていき、またそれぞれの都市の活力というものが周辺地域の経済、文化の発展に大きな影響と牽引力になっていく時代であるというふうに考えております。したがって、今回のサミットにおきまして、21世紀の都市のあり方につきまして、幅広い視点からいろんな討論が行われますことは正に時宜を得たものと思いますし、その成果に、私どもは非常に大きな期待を寄せております。ぜひこのサミットを通じまして、世界に新しい都市のあり方について発信をしていただくことを期待いたしております。

福岡県は人口が500万人、経済規模は1,500億ドルであります。また、32の大学を持っているといういわば知識の集積値の非常に高い地域であります。そして、福岡県の目指すところは、アジア太平洋地域と経済の面はもちろんでありますけれども、環境、あるいは文化、こういう面におきまして積極的に交流を進め、アジア太平洋地域の一つの大きな拠点になってまいりたいということでもあります。ともに協力をし、繁栄をしていきたいというのが、私どもの抱負であります。そして、経済の面におきましては、特にITを中心といたしました知識集約型の産業ということを重視いたしております。福岡県では、ギガビットハイウェイをつくり、これを世界各地とつなげておきまして、大容量、高速通信を可能にいたしております。この上に立ちまして、「シリコン・シーベルト構想」、システムLSIの設計開発拠点、世界的な拠点になっていこう。あるいは、「eアジアマーケットプレイス」、ネットを通じまして、アジアの国々と国境を越えたe取引をやっていこう。あるいは、「フクオカベンチャーマーケット」によりまして、アジアのベンチャー企業とのマーケットを毎月開いているわけでありませうけれども、福岡がベンチャーの飛躍台を提供していこう。このようなことでもあります。また、環境の面におきましては、北九州市を中心に多くの経験を持っております。この経験を生かしまして、私たちは環境負荷の少ないリサイクル型社会をつくっていこうと考えております。そのための産業技術、産業の確立、社会システム、これをつくっているわけでもあります。このような経験をどんどんアジア太平洋の皆さんにご紹介し、また貢献をしてまいりたいと考えております。文化の面におきましても、子供たちの交流をはじめ、新しい文化、デジタルアート、あるいはアニメといった映像文化、あるいはファッション、若者のポップス、こういうものの交流もどんどん進めていきたい。そして、この地域に新しい文化をつくって世界に発信していこう。そのような活動を多方面において行っているわけでもあります。そのような意味で、この都市サミットが、サミットという新しい形態によりまして、都市間協力を大いに進めていく成果を得られますことを特に期待いたしまして私の歓迎のごあいさつといたします。



【福岡市議会議長 稲員 大三郎】

ご紹介をいただきました、福岡市議会議長の稲員でございます。第5回アジア太平洋都市サミットの開催にあたりまして、アジア太平洋地域12カ国23都市からご参加いただきました代表団の皆様方を心から歓迎申し上げます。

さて、このアジア太平洋都市サミットも今回で5回目を迎えました。今から8年前、1994年に第1回が福岡市で開催されましたが、この間、予想をはるかに越えてグローバル化が急速に進み、私たちの生活はもはや世界的な動きとは切り離せない、極めて密接な関係の中で営まれるようになってきております。環境問題をはじめ、都市が抱える問題ももはや一国一都市だけでは解決することが困難であることは明白であります。

こうした中、アジア太平洋地域の諸都市が連携し、市民生活の向上のため知恵を出し合い、都市問題解決に向けた相互協力のためのネットワーク構築をめざすアジア太平洋都市サミットが継続して開催され、定着してきておりますことは、大変素晴らしいことであると思っております。本日ご参加の代表団の方々、各都市の行政の責任者として市民の生活を守り、市民生活の質を高めるため、それぞれの都市で力を尽くされておられます。そのご尽力に心から敬意を表しますとともに、今回の会議において多くの成果を収められ、市政に反映されますことをご期待申し上げます。

また福岡市は古来、日本におけるアジアとの交流の窓口として発展してきた、市民のホスピタリティあふれる国際都市であります。限られた時間ではございますが、ぜひこの機会に福岡の多くの市民と対話をさせていただき、福岡をより深くご理解いただくことを願っております。

最後に、本日お集まりの皆様方のご健康と今後の益々のご活躍を心から祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

----- 参加都市代表挨拶 -----

【釜山広域市長 安 相英】

ただ今ご紹介いただきました大韓民国・釜山広域市長の安相英です。親愛なる福岡市長の山崎広太郎様、そして第5回アジア太平洋都市サミットにご出席の各都市の市長様をはじめとする代表者の皆様、お会いできて大変嬉しく思っております。

私はこの美しい都市、福岡で開催される第5回アジア太平洋都市サミットに出席された皆様を代表してご挨拶させていただくことを大変光栄に思いますとともに、今回、会議の準備のため、ご尽力下さった山崎市長様や関係者の皆様に深く感謝いたします。

1994年に創設されたアジア太平洋都市サミットは、年を重ねるとともに、会員都市の互いの経験や知識をもとに行われた都市政策の開発や運営を通して、都市発展に多大な貢献をしてきました。私たちはこのサミットで住宅、環境、交通、観光など都市行政の全分野に渡って討論や政策的な合意を行い、また実践することで、この会議を実りのある国際会議として位置付けてきました。このような成果は、まさにこの会議を創設した福岡市の献身的な努力と参加会員都市間の共同協力の賜物であり、福岡市やこの場に参加された都市代表団の皆様には深く敬意を表します。

親愛なる会員都市の市長様、そして代表団の皆様、21世紀のニューミレニアム時代は20世紀とは違う行政パラダイムを求めています。都市への人口集中に伴う住環境や交通混雑、貧困の問題などは依然として深刻な都市問題として存在しています。その一方、環境を保護しながら持続可能な都市開発を行うことに対する住民の要求が高まっているのも事実です。

巨視的には国境を越えるグローバル化や情報通信技術の発達による情報化が進み、いわばグローバル時代の知識情報社会が到来しています。都市管理の主体も従来の都市政府の官僚中心から、サイバー空間やNGO組織を通し、広い範囲で市民参加が行われておりますし、地場企業の役割も大きくなっています。このような行政環境の変化は、過去の20世紀的な統治、ガバニングまたは政府、ガバメントという一方通行的な体制の代わりに、多様な発展主体間の新しい協力的なパートナー関係が求められています。都市化、情報化、グローバル化は都市政府が直面している都市問題を能動的に対処するために、新しいガバナンスの構築が強く求められているわけです。

今世紀、私たちが築こうとするガバナンスは、政府と市場、そして民間の共同協議による都市経営を意味し、国境を越えて、都市間の協力のもとで共同繁栄や持続可能な発展を図ることです。このような観点から見ますと、都市政府はガバナンスという新しいパラダイムの中で、どの時代よりも広い範囲での政府革新が求められているといえるでしょう。

親愛なる都市代表団の皆様、私はこのような時代的な流れの中で、今回の都市サミットで定められた「21世紀型の新しい都市づくり」という討議テーマは、時宜にかなったテーマであると思います。私が先ほど申し上げました新しいパラダイムの具体的な実体を議論するため、今回の都市サミットは私たちにとって大変有意義であると思います。そして都市ガバナンスの実質的な実行のために、第4回都市サミットで私が提案いたしました「アジア太平洋都市観光振興機構」が皆様の積極的な支持のもとで公式的に出帆できることを期待いたします。

最後に、私は来る9月29日から2週間、釜山で開催される「第14回釜山アジア大会」やその後に開かれる「世界合唱オリンピック大会」に対する皆様の多くの関心と声援をお願い申し上げるとともに、皆様の釜山訪問を期待いたします。

今一度、本会の準備のためご尽力なされた関係者の皆様に感謝いたしますとともに、都市サミットの成功をお祈りいたします。皆様のご健勝をお祈りいたします。

ありがとうございました。